

点 検 評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	[説明] 世代を越えて交流できるような新しいイベントや講座を関係機関と連携を図りながら、企画し、開催した。
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] マンネリ化しないよう、利用者のニーズを考慮しながら今後も新しいイベントや講座を企画し提供していく。
学識経験者等 の 意 見	○ 「子ども館」は、子供達が自ら課題を見つけ、自ら思考し、解決していく資質や能力を育む施設として、大変重要な役割を担っています。 専門性を持った職員が限られている中で、科学館、美術館、歴史館、博物館等多様なジャンルを有している子ども館に、一人でも多くの子供達に足を運んでもらえるよう、あるいは継続的に利用してもらえるよう、野外観察や音楽会を催し、利用者確保に努力している様子がうかがわれます。 ○ 館内の案内や展示品の解説、イベントにおける職員の補助など、来館者に対する直接的にしかも親身にサービスする姿も見られます。 ○ 限られた数の職員や予算の中では、取り組みたい事業も限られてきます。専門員の採用、適正配置が、新たな学習プログラム開発するには欠かせない条件となります。しかし、今の財政状況の中では、事業に一定の制約があるのはやむをえないところがあります。 ○ そのような状況下にはありますが、県立博物館や宇宙開発事業団、エナジウムパーク等、他の同様の施設と提携し、展示物の交換や共催事業など工夫されないでしょうか。 ○ また、学校教育との連携も行われていると思われませんが、どのような内容を、どの程度協力でき、その効果はどうであったのかを検証しながら、より学校に期待される子ども館であってほしいものです。 ○ 子どもたちが自由に手にとって見ることのできる「DVDコーナー」があってもよいのではないかと思います。(東京都渋谷区の「子どもの城」ではこのコーナーが大変活用されていました。) ○ 展示については、コンピュータ処理された映像をモニターで見せるのもよいのですが、できるだけ実物展示の方が、より子どもへのインパクトが強いように思われます。 また、アンケート調査など利用者の声に耳を傾け、催しや展示の評価をし、子ども達にとって魅力ある楽しいと思われる条件を整える方向にいくことが望ましいように思われます。

- 野外体験学習は、郷土を見つめなおす大変よい機会となっています。体験学習プログラムは、引き続き実施して欲しいものです。
- 少子化の中であるが、魅力ある新規イベントの提供により、事業活動参加者数が大きく増加しており、高く評価できる。
- 総利用者数が大きく減少していることから、この点の原因の解明と対策に取り組んでいただきたい。利用者へのアンケートなど、具体的な取り組みがあれば示すことが望ましい。
- 学校やPTAなどとの連携があれば今後記載していただきたい。

施策の項目	(7) 勤労青少年の自主活動支援																																	
方針・目標	① 勤労青少年団体、サークルグループ等の育成と自主活動の支援のため、主催講座等、各種事業を実施する。 ② 勤労青少年の交流の促進と活動の場の拡大を図るため、機能の充実及び運営に努める。 ③ 生涯学習の推進のため、広く市民の学習活動の場として施設の利用促進に努める。 ④ 利用者拡大を図るため、施設整備、広報活動の充実に努める。																																	
目標値	○利用グループ数の増加 ※前年度実績を上回る																																	
事務事業の実績	1. 主催講座の開催 <table border="1" data-bbox="488 860 1117 990"> <thead> <tr> <th></th> <th>講座数・延べ回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>3講座 19回</td> <td>305人</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>5講座 16回</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table> 2. 勤労青少年ホーム登録サークル <table border="1" data-bbox="488 1072 860 1202"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用グループ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>13団体</td> </tr> </tbody> </table> 3. 利用者連絡協議会 20.4.26 総会の開催 20.5.25 のしろ子どもまつり 参加 20.10.12 公民館際 参加 8～11月 役員会の開催 4. 勤労青少年ホーム親睦会 20.11.22 利用者の親睦を深めるためボウリング大会を開催 5. 利用者数（単位：人） <table border="1" data-bbox="488 1666 1331 1796"> <thead> <tr> <th></th> <th>主催事業</th> <th>サークル利用</th> <th>一般利用</th> <th>個別</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>456</td> <td>2,551</td> <td>13,923</td> <td>0</td> <td>16,930</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>601</td> <td>3,419</td> <td>17,226</td> <td>0</td> <td>21,246</td> </tr> </tbody> </table>		講座数・延べ回数	参加者数	H20	3講座 19回	305人	H19	5講座 16回	230人		利用グループ数	H20	13団体	H19	13団体		主催事業	サークル利用	一般利用	個別	合計	H20	456	2,551	13,923	0	16,930	H19	601	3,419	17,226	0	21,246
	講座数・延べ回数	参加者数																																
H20	3講座 19回	305人																																
H19	5講座 16回	230人																																
	利用グループ数																																	
H20	13団体																																	
H19	13団体																																	
	主催事業	サークル利用	一般利用	個別	合計																													
H20	456	2,551	13,923	0	16,930																													
H19	601	3,419	17,226	0	21,246																													

点 検 評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ・前年度実績を上回ることではできなかったが、脱退サークルのかわりに新規サークルの加入があった。
課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] ・事務事業の一元化により平成 21 年度から公民館事業に統合 ・青少年向けの事業の充実に努める ・若い世代のニーズに即した講座開設等の検討
学 識 経 験 者 等 の 意 見	○ 勤労青少年ホームは、自立し、さまざまなものにチャレンジする青少年を育成し、多感な青少年の期待に応えることのできる施設として機能すること求められています。 これまでは、身の丈にあった事業が展開されてきましたが、21年度から公民館事業に統合されたことによって、市民へのサービスという点においてどのようなメリットがあったのか。また解決されるべき点はどのようなことなのか。そのステップはどのように踏んでいけばよいのか等、統合された本年度の中間や年度末に、利用者の声と併せて評価されるべきものと考えます。 ○ 施設の利用は、目一杯なされているようですが、青少年の社会参加という視点から、利用者の自主性・自発性は尊重されるべきですが、日ごろの活動の成果を、老人ホーム等の介護施設において披露するなど、そのような面も支援や助長できないものかと思えます。 青少年だけで楽しむのではなく、社会を意識した生き方や社会との触れあいを促す方向性があってもよいのではないかと考えます。 <input type="checkbox"/> 主催事業、サークル利用、一般利用、いずれも利用者数が大きく減少しており、組織や事業の見直しが求められる。 <input type="checkbox"/> 少子化、高齢化により、若者の減少が続いていることが利用者数減の大きな原因であろう。ただ、その厳しい中で、勤労青少年ホームとしてどのような努力がなされたのかを示していただきたい。 <input type="checkbox"/> 目標値としては、利用グループ数の増加だけでなく、利用者数、主催事業の質的・量的充実などにも触れていただきたい。

施策の項目	(8) 女性の学習活動意欲を高める場の提供																						
方針・目標	① 生活に役立つ各種講座の開設 ② 登録グループの育成、利用グループ連絡協議会への支援 ③ 男女共同参画社会を目指し、地域に根ざした施設運営 ④ 新規利用者拡大のため報道機関等への情報提供とメディアの活用																						
目標値	○登録グループ数の増加 ※前年度実績を上回る																						
事務事業の実績	1. 講座の開設 <table border="1" data-bbox="491 757 1118 887"> <thead> <tr> <th></th> <th>講座数・延べ回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 0</td> <td>21 講座 70 回</td> <td>990 人</td> </tr> <tr> <td>H 1 9</td> <td>20 講座 66 回</td> <td>1,010 人</td> </tr> </tbody> </table>						講座数・延べ回数	参加者数	H 2 0	21 講座 70 回	990 人	H 1 9	20 講座 66 回	1,010 人									
	講座数・延べ回数	参加者数																					
H 2 0	21 講座 70 回	990 人																					
H 1 9	20 講座 66 回	1,010 人																					
	2. 登録グループ数 <table border="1" data-bbox="491 967 991 1097"> <thead> <tr> <th></th> <th>グループ数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 0</td> <td>60 団体</td> <td>719 人</td> </tr> <tr> <td>H 1 9</td> <td>57 団体</td> <td>724 人</td> </tr> </tbody> </table>						グループ数	人数	H 2 0	60 団体	719 人	H 1 9	57 団体	724 人									
	グループ数	人数																					
H 2 0	60 団体	719 人																					
H 1 9	57 団体	724 人																					
	3. 利用グループ連絡協議会 活動支援 (加入グループ数：30 グループ 人数：333 人) 20. 4.15 総会の開催 20. 9. 5 全県自主グループ交流会 参加 4～3月 役員会の開催 随 時 おなごりフェスティバル等催事 参加 20.10.17～18 第24回婦人の家まつり 参加者数 1,255 人																						
	4. 男女共同参画コーナー <table border="1" data-bbox="504 1512 1203 1641"> <thead> <tr> <th></th> <th>会議等利用</th> <th>印刷機利用</th> <th colspan="2">関係図書等の貸出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 0</td> <td>294 件 362 人</td> <td>285 件</td> <td>7 件</td> <td>7 冊</td> </tr> <tr> <td>H 1 9</td> <td>365 件 577 人</td> <td>320 件</td> <td>4 件</td> <td>4 冊</td> </tr> </tbody> </table>						会議等利用	印刷機利用	関係図書等の貸出		H 2 0	294 件 362 人	285 件	7 件	7 冊	H 1 9	365 件 577 人	320 件	4 件	4 冊			
	会議等利用	印刷機利用	関係図書等の貸出																				
H 2 0	294 件 362 人	285 件	7 件	7 冊																			
H 1 9	365 件 577 人	320 件	4 件	4 冊																			
	5. 施設利用者数 (単位：人) <table border="1" data-bbox="504 1722 1347 1852"> <thead> <tr> <th></th> <th>婦人団体</th> <th>育成団体</th> <th>その他</th> <th>行政団体</th> <th>主催事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 0</td> <td>623</td> <td>13,139</td> <td>2,658</td> <td>2,342</td> <td>2,731</td> </tr> <tr> <td>H 1 9</td> <td>613</td> <td>11,288</td> <td>2,868</td> <td>2,643</td> <td>3,025</td> </tr> </tbody> </table>						婦人団体	育成団体	その他	行政団体	主催事業	H 2 0	623	13,139	2,658	2,342	2,731	H 1 9	613	11,288	2,868	2,643	3,025
	婦人団体	育成団体	その他	行政団体	主催事業																		
H 2 0	623	13,139	2,658	2,342	2,731																		
H 1 9	613	11,288	2,868	2,643	3,025																		